対人援助職の職業生活出来事と精神的状態との関連についての予備的分析

○森本寛訓¹・神田有希恵²・長田久雄³
(¹川崎医療短期大学・²府中市立湯が丘病院・³桜美林大学大学院老年学研究科)
キーワード: 対人援助職者 職業生活出来事 精神的状態

Preliminary analysis of the relationship between working life events of human care service professions and their mental state
Hiromichi MORIMOTOI¹, Yukie KANDA² and Hisao OSADA³
(¹Kawasaki college of allied health professions., ²Yugaoka hospital., ³J.F. Obirin University.)
Key words: human care service professions, working life events, mental state

目 的

結果と考察

少子高齢社会において医療や福祉などの対人援助サービスは欠くことのできない社会資源である。対人援助サービスはふだんから良質のものが望まれており、これらを担う対人援助職者は良質のサービスを提供できるよう自らの精神的状態を維持しておく必要がある。本研究では対人援助職者の精神的状態へポジティブまたはネガティブに影響する可能性のある“職業生活出来事”の内容を明らかにし、精神的状態との関連を分析することで彼らの精神的状態維持策についてポイント指摘する。

方 法

調査期間と調査方法：予備調査は2007年6月から2008年3月にかけて面接法と自由記述式質問紙法によって実施した。本調査は2008年9月から10月にかけてチェックリストによる質問紙法で実施した。**調査内容：**予備調査では本調査で用いる職業生活出来事質問紙を作成するためエピソードを収集した。本調査では職業生活出来事質問紙とPANAS（佐藤ら，2001），CES-D（島ら，1985）を用いた。**調査対象者：**予備調査，本調査ともに近畿・中国地方にある病院，介護サービス事業所，児童養護施設従事する看護師，介護職員，児童養護職員を対象者とした。**データの整理：**予備調査で得られたエピソードは調査対象となった三職種の従事者と大学教員によって整理・分類した。本調査では職業生活出来事質問紙とPANAS（PA：ポジティブ感情とNA：ネガティブ感情）の各質問項目について体験に関する素点合計をそれぞれ下位尺度得点とした。CES-Dの得点化は島ら（1985）に従った。

本研究では調査対象として“看護師”“介護職員”“児童養護職員”を取り上げ、これら三職種が共通して体験する内容を対人援助職者の職業生活出来事とした。また精神的状態にポジティブまたはネガティブに影響しうる職業生活出来事をそれぞれポジティブまたはネガティブ職業生活出来事とした。予備調査から三職種に共通する職業生活出来事の内容はポジティブ，ネガティブともに6領域で構成されることが明らかになった。よってこれら6領域を代表する54の質問項目から職業生活出来事質問紙を作成した。

次に職業生活出来事と精神的状態との関連を分析するため三職種ごとに各尺度得点間のピアソンの積率相関係数を算出した（表参照）。“ $r>.300$ ”または“ $r<-.300$ ”を相関有りとみなすと，三職種に共通して“職員間の関係”と“役割達成”では，ポジティブ職業生活出来事得点はポジティブな精神的状態を評価するPA得点と正の相関が，またネガティブ職業生活出来事得点はネガティブな精神的状態を評価するNA得点，CES-D得点と正の相関が認められた。以上の結果は対人援助職者の精神的状態維持策を検討する際に着目すべきポイントであるといえる。

引用文献

島 悟・鹿野達夫・北村俊則・浅井昌弘（1985）. 新しい抑うつ性自己評価尺度について 精神医学, 27, 717-723.
佐藤徳・安田朝子（2001）. 日本語版 PANAS の作成 性格心理学研究, 9, 138-139.
本研究は科研費（19730453）の助成を受けたものである。

表 職業生活出来事と精神的状態の相関係数

職業生活出来事		看護師			介護職員			児童養護職員		
		PA	NA	CES-D	PA	NA	CES-D	PA	NA	CES-D
職員間の関係	ポジティブ	.412 **	.086	-.230 **	.478 **	.005	-.249 **	.455 **	.031	-.228 **
	ネガティブ	.100	.350 **	.295 **	.082	.369 **	.350 **	.018	.426 **	.379 **
被援助者との関係	ポジティブ	.288 **	-.030	-.149 **	.393 **	.182 **	.024	.362 **	.031	-.080
	ネガティブ	.058	.217 **	.161 **	.063	.362 **	.275 **	.018	.371 **	.255 **
被援助者の状態	ポジティブ	.227 **	-.039	-.104	.459 **	.023	-.157 *	.365 **	.021	-.177 **
	ネガティブ	.061	.191 **	.153 **	.045	.224 **	.180 *	.011	.273 **	.209 **
被援助者の家族との関係	ポジティブ	.250 **	.005	-.164 **	.299 **	-.007	-.142 *	.233 **	-.031	-.136 *
	ネガティブ	.160 **	.069	.005	-.026	.116	.075	.096	.049	.007
役割達成	ポジティブ	.432 **	.121 *	-.314 **	.538 **	.144 *	-.087	.456 **	-.049	-.198 **
	ネガティブ	.180 **	.568 **	.336 **	.269 **	.509 **	.327 **	.001	.584 **	.431 **
職場環境	ポジティブ	.126 *	-.038	-.151 **	.179 **	-.051	-.268 **	.195 **	-.028	-.207 **
	ネガティブ	.105	.164 **	.134 *	.098	.333 **	.322 **	.090	.206 **	.165 *

a) **p<.01 *p<.05
b) PA：ポジティブ感情 NA：ネガティブ感情
c) 表中の“被援助者”とは“患者”や“施設利用者（高齢者，児童）”のことである。